

研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称； 当科で管理した異常絞扼反射を有する患者の臨床統計 - 2014 年～2017 年 -
(承認番号 18 - 022)

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・歯科麻酔学講座

研究責任者； 助教・鈴木 正敏

研究期間；平成 30 年 12 月 13 日 ～ 令和 5 年 12 月 12 日

1. 研究対象者

2014 年 1 月から 2017 年 12 月までの麻酔・全身管理科で管理した精神鎮静法症例のうち、異常絞扼反射症例の方

2. 研究目的・意義

歯科治療恐怖症や異常絞扼反射の患者は、歯科治療を困難なものとするため、精神鎮静法下での歯科治療が行われることが多く、その管理数は年々増加傾向となっている。異常絞扼反射は精神鎮静法下でも治療困難となる症例が多く、患者一人当たりの管理数も多い傾向があり、患者への負担も大きくなる。また、治療担当医、麻酔・全身管理科および患者の予定を合わせなければならず、治療期間も大幅の伸びることとなる。ここで今回、2014 年 1 月から 2017 年 12 月までの麻酔・全身管理科で管理した精神鎮静法症例のうち、異常絞扼反射症例について、治療内容、管理方法および管理回数などを診療録および麻酔記録から摘録し検討する。今後の異常絞扼反射患者への治療方法、管理方法および予約方法などを検討することで、治療効率および患者の負担を改善させるためになると考えている。

3. 方法

2014 年 1 月から 2017 年 12 月までの麻酔・全身管理科で管理した精神鎮静法症例のうち、異常絞扼反射症例について、後ろ向きに年齢、性別、合併症、障害名、治療内容、管理方法、管理回数、一人当たりの管理回数および次回予約までの平均日数などを診療録および麻酔記録から摘録する。

4. 研究に利用する試料・情報等

試料；

情報；診療録情報（年齢・性別・既往歴、診断名 等）

5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・歯科麻酔学講座・助教・鈴木 正敏
電話番号： 047-360-9439

---以上